

調査・設計等業務に係る総合評価落札方式の評価項目・評価基準及び配点

令和3年4月1日以降適用

評価項目		評価の着眼点	評価基準	配点	得点
予定技術者の 経験及び能力	技術者資格	保有する資格、経験	A 技術士・博士(指定する業務部門(※)に限る)を保有している	5	5
			B RCCM(指定する業務部門(※)に限る)、林業技士(森林土木部門)を保有している	3	
			C その他、同等の能力と経験を有する技術者(※)	1	
	同種業務の実績	前年度までの15年間に於ける同種業務(入札公告に示す業務)の実績	A 国発注業務において管理技術者、照査技術者としての実績がある	5	5
			B 都道府県発注業務において管理技術者、照査技術者としての実績がある	3	
			C 市町村発注業務において管理技術者、照査技術者としての実績がある	1	
			D 国、都道府県、市町村の発注業務において管理技術者、照査技術者としての実績はないが、担当技術者としての実績はある。	0	
	過去に担当した業務 の成績	同種業務の業務成績評定における管理技術者の評 定点(前年度までの2年間の平均点数)	A 80点以上である	5	5
			B 76点以上80点未満である	4	
			C 73点以上76点未満である	3	
D 70点以上73点未満である			2		
E 70点未満である			1		
技術者の専任性	管理技術者の手持ち業務件数(森林整備保全事業 以外を含む1千万円以上の業務)	A 2件以下、又は契約総金額が3千万円未満である	5	5	
		B 3~4件、又は契約総金額が5千万円未満である	3		
		C 5件以上、又は契約総金額が5千万円以上である	1		
技術者の継続教育	森林分野及びその他分野の継続教育の実績(前2 値年度)	A 森林分野に関する継続教育の取得ポイント証明あり	5	5	
		B 他の(土木施工管理技士CPDS等)継続教育の取得ポイント証明あり	3		
		C 取得ポイント証明なし	0		
小 計				25	25
企業の実績・ 能力・信頼性	低入札価格調査等の 実績	低入札価格調査又は品質確保基準価格対象業務 の実績の有無(過去2年間 自局の実績)	A 対象業務の受注実績なし	2	2
			B 対象業務の受注実績が1件ある	1	
			C 対象業務の受注実績が2件以上ある	0	
	業務成績	企業の過去2年間の業務成績の平均点	A 80点以上である	5	5
			B 76点以上80点未満である	4	
			C 73点以上76点未満である	3	
D 70点以上73点未満である			2		
E 70点未満である			1		
優良表彰	過去10年間の表彰実績	A 大臣表彰又は長官表彰の実績あり	2	2	
		B 局長表彰の実績あり	1		
		C 表彰なし	0		
信頼性	過去2年間の不誠実な行為の有無	A 指名停止措置(自局の実績)等の不誠実な行為がある	-3	0	
		B 指名停止措置(自局の実績)等の不誠実な行為がない	0		
	ワークライフバランス 等の推進の取組	ワークライフ・バランス等の推進に係る認定の取得 状況等	A えるほし、プラチナえるほし、一般事業主行動計画の策定、くるみん、プラチナくるみん、ユースエールのいずれかの認定等を受けている。 B 上記に記載されている認定等を受けていない。	1 0	1
小 計				10	10
業務の実施方 針等	業務理解度	保安林制度、森林整備保全事業、業務の対象となる 地域・箇所の特性、業務の目的・内容の理解度	A 業務目的等を十分理解し、実施方針に的確に反映している	5	5
			B 業務目的等を概ね理解し、実施方針に概ね反映している	3	
			C 業務目的等の理解が十分でなく、実施方針も見直しが必要である	0	
	実施手順の妥当性	前提条件等の把握と、検討内容・手法等提案の的 確性・妥当性	A 前提条件等を把握した上で、十分かつ幅広い検討を行い、妥当な実施手順である	5	5
B 前提条件等を把握した上で、必要な検討を行い、概ね妥当な実施手順である			3		
C 前提条件等の把握や必要な検討が不足している			0		
小 計				10	10
技術提案(提 案内容の的確 性、実現性及 び独創性)	総合的なコスト	維持管理費・更新費を含めたライフサイクルコスト縮 減への対応	A 長期的な視点かつ新技術を踏まえ、実現性のある提案をしている	5	5
			B 必要な知見を有し、概ね実現性のある提案をしている	3	
			C コスト縮減意識が低く、検討結果も一般的・抽象的である	0	
	工事的物の性能・機 能又は調査精度	工事的物の初期性能の持続性、耐久性等の性 能・機能への対応、調査精度の維持・向上のための 取組み	A 工事的物の性能等を十分理解し、現地実態を踏まえた高度な提案やそれを実現するための方針を提案している	5	5
			B 工事的物の性能等を理解し、概ね現地実態を踏まえた提案や精度向上対策を提案している	3	
			C 工事的物の性能等に対する理解や現地の実態把握が不足し、精度向上のための検討も不十分である	0	
社会的要請	水質汚濁、木製構造物、生物多様性、景観保全等、 環境の維持、工期・施工方法、既設構造物等施工上 の取組、特別な安全対策が必要な場合、現地発生材 利用、省資源、リサイクル対策への取組み	A 施工箇所の位置付け等を十分理解した上で、自然環境、既設構造物の保全、現地発生材の活用等十分理解し、提案している	5	5	
		B 施工箇所の位置付け等を理解し、概ね必要な検討・提案をしている	3		
		C 施工箇所の位置付け等の理解が不十分であり、必要な検討・配慮が不足し、画一的な提案となっている	0		
小 計				15	15
合 計				60	60

(※)「指定する業務部門」、「同等の能力と経験を有する技術者」とは、別途特記仕様書で指定する技術者をいう。